

普及小委員会 活動報告

普及小委員会

小委員長 大西 有三

1. 小委員会の目的

限られた空間に高密度な社会を営むべきわが国にとって、環境、経済、財政面の制約を受けるなか、豊かで活力ある地域・都市空間を形成するためには、地下空間の有効かつ計画的な活用はますます重要となっている。

しかしながら、地下空間の利用には、建設、運用、維持管理、防災などの面で、地上利用に比べてコスト高との評価がなされる等のためか、その普及はなかなか進んでいないのが実情である。

普及小委員会は、これらの状況を踏まえて、一般の方々に広く地下空間利用の効果や有用性を認識していただくことを目的に、平成 18 年度に発足した。

2. 研究内容

2.1 テーマ

「地下空間利用の効果や有用性を一般の方々に広く認識していただく」

2.2 基本方針

上記テーマに従い、以下に示す項目について実施する。

(1) 現状分析

- ・ 地下空間の普及が進まない制約条件の抽出
- ・ 地下空間開発による付加価値の評価（メリット、デメリット）
- ・ 情報収集

(2) 対策検討

(3) 成果の発信（PR、啓蒙活動）

3. 活動経過（平成 20 年 1 月～）

◇平成 20 年 4 月 3 日 第 10 回小委員会

- ・ 普及小委員会 前期 2 か年活動報告書（案）について（中間）
- ・ 第 2 回夏休み親子見学会に向けて
見学場所の確定、諸準備スケジュール、役割分担の確認
- ・ 土木学会全国大会 研究討論会の企画募集への応募について

◇平成 20 年 6 月 4 日 第 11 回小委員会

- ・ 普及小委員会 前期 2 か年活動報告書（案）について（最終）
- ・ 第 2 回夏休み親子見学会に向けて
諸準備スケジュール、役割分担の詳細確認
- ・ 土木学会全国大会 研究討論会の企画具体内容について

◇平成 20 年 7 月 11 日 第 12 回小委員会

- ・ 第2回夏休み親子見学会に向けて
参加者応募状況，諸準備状況，残作業，見学会当日の役割分担等の確認
- ・ 土木学会全国大会 研究討論会の企画具体内容について
共通キーワード，各小委員会への作業依頼内容等の確認
- ・ 新書発行についての検討
目次案，事例掲載内容，執筆内容について

◇平成20年8月2日 第2回夏休み親子見学会

- ・ 東京会場：首都高速中央環状新宿線 建設現場（12組25名参加）
- ・ 大阪会場：阪神なんば線 建設現場（16組34名参加）



4. 委員名簿

役職	氏名	勤務先名称
委員長	大西 有三 ^{*1}	京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻 教授
副委員長	岸田 潔 ^{*4}	京都大学大学院 工学研究科 都市社会工学専攻 准教授
委員	村田 哲哉 ^{*5}	(株)ドーコン 東京支店 事業部 副技師長
委員	井田 隆久 ^{*6}	(株)銭高組 技術本部 技術企画開発部 部長
委員	西田 幸夫 ^{*8}	東京理科大学 総合研究機構 プロジェクト研究員
委員	岡嶋 正樹 ^{*9}	パシフィックコンサルタンツ(株) 交通技術本部 トンネル部 技術課長
委員	森 康雄 ^{*12}	(株)熊谷組 土木事業本部 環境・リニューアル技術部 部長
委員	西村 蘭果	(株)竹中土木 技術・生産本部 技術部
幹事	酒井 喜市郎 ^{*4}	鉄建建設(株) 土木本部 技術提案推進部 部長
幹事	実広 拓史 ^{*4*7*12}	東京電力(株) 電力流通本部 設備渉外・調整グループ 副長
オブザーバ	入江 健二 ^{*3}	東京地下鉄(株) 取締役
オブザーバ	工藤 康博 ^{*2}	(株)三菱地所設計 技術情報部 参与
オブザーバ	粕谷 太郎 ^{*11}	土木学会フェロー
事務局	橋本 剛志	(社)土木学会 研究事業課

*1 親委員会委員長，*2 親委員会副委員長，*3 親委員会幹事長
 *4 親委員会総括幹事，*5 計画小委員会幹事，*6 防災小委員会委員
 *7 防災小委員会幹事，*8 心理小委員会委員，*9 維持管理小委員会委員
 *10 維持管理小委員会幹事，*11 シンポジウム実行委員会副委員長
 *12 シンポジウム実行委員会幹事

(2008年10月現在)